

# Wood Letter

Ψ moku 推し Ψ

令和8年6月 vol.62

森林環境譲与税 ご担当者の皆様へ

平素より、東京の木 多摩産材をはじめ国産木材の利用推進についてご理解及びご協力をいただき誠にありがとうございます。

新緑がまぶしく、外を歩くだけでも少し気分が軽くなる季節となりました。これからは梅雨、そして本格的な夏へと季節が移っていきます。暑さ慣れていくためにも、水分をこまめにとる、無理をしないなど、日々のちょっとした心がけが大切になります。

この時期、森林では木々が雨を受けてぐんぐん成長していきます。木材には、周囲の湿度に応じて水分を吸収または放出したりする性質(調湿性)を持っており、室内環境をやわらかく整える働きがあるといわれています。梅雨の時期にも、その力がさりげなく発揮されているのかもしれませんが。こうした木々の恵みを活かしていくためにも、木材利用の取組を着実に進めていきたいところです。

ということで今月も“Wood Letter Ψ moku 推し Ψ” vol.62をお届けいたします。ぜひともご参照いただき、貴団体内の関係する部署にも転送いただくなどご協力をお願い申し上げます。

：森づくり推進担当一同：

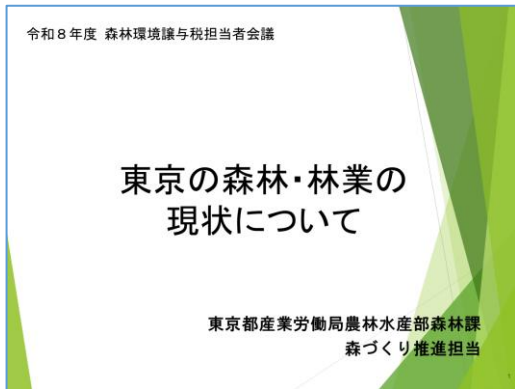


ハーベスターによる枝払い

## (1) 令和8年度第1回 森林環境譲与税 担当者会議 開催

5月8日(金)、令和8年度第1回森林環境譲与税担当者会議をWEB形式で開催しました。会議には都内62区市町村のうち43の区市町村の担当者の方々にご参加いただきました。本会議では、今年度新たに担当になられた方を中心に「東京の森林・林業の現状」や「森林環境税と森林環境譲与税」、「公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト」について説明しました。

当日使用した会議資料はメールにてお送りしていますのでご参照ください。ご参加いただきました担当者の皆様には心より御礼申し上げます。



令和8年度版 区市町村向け 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト

東京の木多摩産材等と触れあう場を創出し、更なる利用拡大を図るため、区市町村による「木材利用推進力対」の策定を促すこととし、モデル的な公共施設取組に対して支援し、積極的な木材利用を推進します。

<事業概要>  
区市町村が所管または整備する施設において、木材を活用したモデル的な施設整備を支援

(1) 対象施設  
区市町村立施設 小・中学校、図書館、図書館、博物館、公園、路上駐輪場、体育館、病院、保健センター等

(2) 対象行先

対象	木材利用推進方針 策定の有無	使用木材
水造化、内装木質化	必要	東京の木多摩産材 (一部国産木材も可)
木製什器、木製道具	必要	東京の木多摩産材
木製外構施設 木製、門扉、パーゴラ ベンチ、デッキ等	不要	国産木材 9%東京産の木多摩産材を 優先し、国産材

\* 補助金は、木材の発着費を、本邦利用促進を目的として区市町村に対して補助  
\* 補助金は、木材の発着費を、本邦利用促進を目的として区市町村に対して補助  
\* 上記に準じて、東京の木多摩産材等取組の取組について対応することが期待されています

(3) 補助金額  
補助金対象費の2分の1以内（〇補助金の上限額：50万円）  
※ 補助金対象費は、10万円を超え、40万円以内とする  
※ 本邦産材の活用を促進するため、国産材の活用を優先して補助金を交付する

(4) 事業手続等の留意点（お読みください）  
事業を推進するための取組を行うため、令和8年度より事業計画書等の一部  
改定されます。関係ページの補足説明をご覧ください

お問い合わせは、東京都 産業労働局 農林水産部 森林課  
森づくり推進担当 03-5500-7198まで

## (2) 森林環境譲与税に関する令和7年度の決算状況調査について

例年、森林環境譲与税について各種調査を実施しておりますが、先般林野庁と総務省の共同により、「森林環境譲与税に関する令和7年度の決算状況調査」について、調査依頼がございました。

本調査につきましては令和8年2月20日付けメールにて依頼の発信をさせていただいております。

- 提出物：①令和7年度の決算状況及び令和7年度末執行状況（残額）（様式1-1、1-2）  
②取組事例（様式1-3）

期 限：令和8年6月5日（金）

※令和8年5月31日現在における令和7年度決算の状況を調査するものです。

ご多忙のところ恐れ入りますが、資料作成及び期限内の提出のご協力をお願いいたします。

### (3) 多摩産材情報センター

「公共施設の資材に多摩産材を使いたい。什器を多摩産材で木質化したいと思うが、どのような供給業者があるのかわからない。」といったご担当はいらっしゃいませんか？

多摩産材情報センターは、多摩産材利用拡大と多摩地域の林業・木材産業の活性化を図ることを目的に、多摩産材の利用者と供給者とのマッチングを行う窓口です。公共施設の整備や什器の更新等をご検討の際には、ぜひご活用ください。

多摩産材情報センター ホームページ



下方へ  
スクロール



多摩産材の使用事例をご覧ください。トップページを下方にスクロールすると「多摩産材の使用事例を探す」といった選択肢が表示されますので、そちらをクリックしてください。使用事例のページでは「施設別」と「用途別」のカテゴリに区分されており、それぞれの多摩産材使用事例をご覧ください。

住所：東京都青梅市河辺町6-4-1東京都青梅合同庁舎 1階 電話：0428-20-1181  
多摩産材情報センター ホームページ URL：<https://tamazansai.Tokyo/>

### (4) 令和7年度 森林環境譲与税譲与額

総務省のホームページに、令和7年度に譲与された全国の都道府県および区市町村ごとの森林環境譲与税額の一覧が公表されています。あわせて、令和元年度以降の譲与額の推移や、地方団体における取組事例集、森林環境譲与税の活用状況、用途の公表状況などの資料も掲載されています。近隣自治体や環境条件の近い他地域、友好都市等の取組などの情報も参照できますのでご活用ください。

総務省 森林環境譲与税掲載サイトHP

URL：[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/04000067.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/04000067.html)

#### 令和7年度 森林環境譲与税 譲与額（都道府県別）

(単位:千円)

都道府県	都道府県分			区域内市区町村計			譲与額合計
	9月期譲与額	3月期譲与額	小計	9月期譲与額	3月期譲与額	小計	
東京都	101,415	114,071	215,486	912,733	1,026,635	1,939,368	2,154,854

令和7年度 森林環境譲与税 譲与額一覧PDF

URL：[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001068288.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001068288.pdf)

### (5) 令和7年度 木材使用実績調査

都では、東京都建設リサイクルガイドライン（第9章第2の4(2)）及び東京都建築物等における多摩産材等利用推進方針並びに同方針の運用に基づき、都内での木材利用の実績調査を行っています。

既に各区市町村の営繕担当者様宛にメールにて、回答のご依頼を差し上げておりますが、複数の部署で木材利用の実績を所管している場合も想定されます。

つきましては、関係部署間でご調整の上、ご回答いただきますようお願いいたします。

調査のご回答にあたり、多摩産材等活用の写真提供が可能な場合「公共施設における多摩産材使用事例集」等に掲載させていただくことがあります。多くの事例収集の為、ぜひ写真提供についてもご協力をお願いいたします。

\*写真をご提供いただく場合は、JPEG・PNGなど高解像度データをご提供いただけますと幸いです。

《提出期限》**令和8年7月1日(水)**まで

## (6) 多摩産材利用促進プロジェクト 令和7年度事例

「公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト」事業の令和7年度活用事例をご紹介します。東京の木 多摩産材と触れ合う場を創出し、更なる利用拡大を図るため区市町村によるモデル的な公共施設整備に対して支援するこの事業は、令和7年度は16区市町村23事業で活用されました。

今回、中野区のリサイクル施設、図書館と小・中学校の什器整備を紹介します。

### 中野区事例

#### 什器整備（リサイクル展示室）



閲覧テーブル



ゴミ量オブジェと木製パズル

#### 什器整備（南台図書館）



育児本等本棚



育児雑誌等本棚



時計 本棚

#### 什器整備（区立小・中学校）



楽器収納棚



木製椅子

## (7) MOCTION 企画展示

木材の大消費地である東京での更なる木材利用の拡大に向け、国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION（モクション）」。一定期間ごとに、全国各地の木材製品の展示が行われています。

4月9日～21日 MOCTIONセレクト企画展



全国各地の木材関連製品の中から、魅力ある商品を展示。アクセサリや木のおもちゃなど日常使いが出来る木製品から、建築や空間づくりに関わる建材までが一堂に並び、木材利用の幅広さと、木を身近に感じられる展示になっていた。

4月23日～5月19日 和歌山県紀州材展



今回の主役は虫の食害を受けて生まれた「あかね材」。一見クセが強めですが、強度は問題なし。木が生きてきた証として、その模様が魅力となっている。また、木製ガチャや木の玩具は子供たちに好評で、週末には家族連れで賑わっていた。

6/4～6/16は広島県、6/18～6/30は群馬県の出展となります。皆様のご来場をお待ちしています！

### ちょこっとコラム（ご存知でしたか？こんなこと）

#### 木の底力 - エネルギーからプラスチックまで

木材と聞くと建材や家具を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実はそれだけではなく、エネルギーや新しい素材としても活躍しています。例えばバイオマス発電は、間伐材や木くずなどを燃料に、電気や熱を生み出します。燃やすとCO<sub>2</sub>が出ますが、その量は木が成長過程に吸収した量とほぼ同じであるため、大気中のCO<sub>2</sub>を増やさないカーボンニュートラルな発電方法として注目されています。

さらに、木を繊維状に加工した木質繊維は、紙の原料だけでなく、断熱材や吸音材、不織布など、身の回りの様々な製品に使われています。軽くて加工しやすいため、医療分野や住宅内装などにも広がっています。そして最近話題なのが、木から生まれるプラスチック。木材由来のバイオプラスチックは化石燃料に頼らない植物性素材で、環境にやさしいのが特徴です。スプーンや容器などの日用品や、包装材など、気づかないうちに私たちの暮らしの中に入り始めています。家を支える木が、電気を生み、プラスチックにまでなる。木の底力、侮れません。

「WOOD LETTER Moku推し（ウッドレター モクオン）令和8年6月vol.6 2」

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一庁舎21階中央  
東京都産業労働局農林水産部森林課 森づくり推進担当  
TEL03(5000)7198(直通) 担当: 秋葉、高居、小山、中田、中村

森林環境譲与税はもとより、多摩産材の利用等東京の森林・林業に関することにつきましてもお気軽にお問合せください。